

第11回 全国青年修養会

9.22 ~ 24 福岡市東区

9月22日から24日の3日間、全国から約40名の青年が参加し、箱崎教会と聖ペテロ教会及び恵泉幼稚園



を会場として、全国青年修養会が開催されました。

今回は、少人数で短い準備期間であってもやることのできる「新たな修養会」を創りだし、新たな青年会活動を歩んで行きたいという想いで、テーマを『創造』にしました。

「ろうそく作り」や「バーベキュー(食事作り)」、「礼拝作り」など、与えられるのではなく自分たちの手で作り出すために、仲間と協力し合い、楽しく充実した時を過ごすことができました。僕たちの「作る」修養会を、神様が仲間と協力者をお与えになり、『創造』してくださったことに感謝しています。

更に、今回の修養会を受け入れてくださった箱崎教会、聖ペテロ教会、恵泉幼稚園の方々の心温まるご協力のもと、無事に修養会を開催できたことにも感謝しています。本当にありがとうございました。

【実行委員長 末吉潤一(神水教会)】

「この地面をずーっと掘っていくと…」

ブラジル訪問

「この地面をずーっと掘っていくと出る、地球の反対側から来たんだよ」と、きらきらする眼差しの子どもたちに紹介されました。そこはファベラといわれる貧しい地区の子どもたちの学習支援や青年の就職支援をしている、現地ルーテル教会が設立した施設です。

9月18日から26日まで渡辺純幸副議長・世界宣教委員長とともにブラジルを訪問しました。目的はJELCがサンパウロ教会に7年任期で派遣している渡邊進宣教師と面談し、現地日系教会およびブラジル福音ルーテル教会(IECLB)を訪問することでした。今回はブラジル支援をしているJELAの古川事務局長も同行して下さり、教会・集会所のほか、冒頭に触れたようなJELAも支援している諸施設も共に訪問する、よい機会となりました。

ブラジル移民が始まって来年で100年。日系人教会には43年にわたり宣教師が派遣されてきました。その後、世代交代や高齢化も進み、旧日本基督教団系の「南米教会」がブラジルのルーテル教会に加盟し、「サンパウロ教会」はこの教会と「日系パロキア」という教会共同体を形成、日系人牧師・大野健牧師が主任牧師で宣教師はそのもとでチームで働くように変遷してきています。



日曜日は徳弘・渡辺がそれぞれの教会で説教奉仕をし、役員会、そしてパロキアの合同役員会、ファベラ



ラにあるジアデマの集会所の夕礼拝と、特に忙しい日でした。子どもたちからお年寄りまで、日系の方々や現地の人たちともたくさん会い、笑顔をかれました。特に昼食は、昔ながらの手作りの和食でもてなしを受けました。気候も時間も全く反対の地球の裏側にも、こうしてルーテル教会の兄弟姉妹がいることを遠くで家族に再会したように嬉しく思いました。バザーのための日本からの中古衣料なども大歓迎との事。

250年ほど前に主にドイツからの移民で始まったルーテル教会ですが、それだけではなくアマゾンなど教会のない地域への伝道や、ファベラでの支援にも取り組むIECLBをポルトアレグレの本部を訪ねて学びました。日系教会も時代の変わり目にあって、夫々の教会が将来を模索しています。献身を決意している青年もいます。JELCとJELAはそれをよく理解し、お支えしなければと思われました。

【事務局長 徳弘浩隆】



■発行所■

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■

00190-7-71734

■ウェブサイト■

http://www.jelc.or.jp

■E-mail■

jelc@jelc.or.jp

■発行人■

佐藤 和宏 koho01@jelc.or.jp

■印刷人■

精文堂印刷株式会社 (定価1部40円)

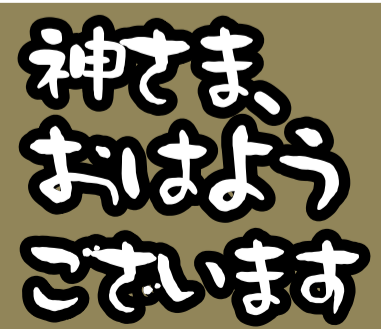
CONTENTS

目次

- 1 | 第11回 全国青年修養会
「この地面をずーっと掘っていくと…」
『神さま、おはようございます』
- 2 | 牧師の声・信徒の声
東洋と西洋の対話⑧
- 3 | 信仰の学び、養いを生涯続ける⑧
神学生寮の思い出
クリスチャンのライフカレンダー
LAOS 講座
- 4 | 一日神学校
全国ディアコニアセミナー
PM 会議、TNG 全体会議
幼保連合会ニュース
ハンソン宣教師来日
募集、チャリティコンサート、他

福音版

- 1 | バイブルメッセージ
魂の輝き
- 2 | 大人を育てる絵本からのメッセージ
HeQi Art 聖書物語
たろこま「いのちを語る」



わが家の娘たちは外に遊びにいつて帰ってくると、まずお父さんを探します。ここまでは愛情溢れる家族に見えますが、その探し方がわが家らしいのです。娘たちはドアを開けるなり、「お父さん、お父さん」と叫びながら、一目散に寝室に飛び込んでいきます。それが何回見ても同じです。これは何を表しているのか。

いつもどこにお父さんがいるかを知っている娘たちは幸せかもしれない。私たちも、神様はいつどこにおられるのかと探すことがありません。見つからないといつては嘆いてみたり、怒ってみたりしています。

神様がどこにおられるか知るには、まず御言葉に行く必要があります。ルターは、「キリストについてまったく考えずに二日を過ごすとき、わたしの心はなえ、いきいきと働かなくなり」と言いました。

「神さま、おはようございます」と毎朝いつてみませんか？どこに神様がいらっしゃるかわかってくると思います。ついでに「おやすみなさい」もね。

(柿のたね)

<信徒の声> 教会の宝石を捜して

東教区
田園調布教会 信徒

よしえ ともえ
木村 倅枝 / 岡田 頼恵



右が岡田さん、左が木村さん

毎週日曜日の聖書朗読の三カ所(第一朗読/第二朗読/福音書)に、しおりをはさむ奉仕をしてください。おられますが、お話を聞かせてくださいませんか。

岡田さん / 母がここで教会生活を送ったので、その影響があった訳です。久しぶりに教会に足を向けたときに、この教会で歓迎会をしてくれまし

た。その席に座ったのですが、後から考えてみれば、十分な考えもなしに座って、インタビューをされました。ね。急に、なぜだか、涙が出てきてしまったのです。母が天国から見えてくれて、教会に來なさいといっている気がしたんです。それで、続けてくるようになります。しおりを挟むことは楽しみになりまして、全然大変じゃないんです。やっているときに、いろいろなことを若い人とも話をしたり、勉強し

ながらやっています。楽しいですよ。
木村さん / 私も母の影響があります。この教会で、矢野先生や幼稚園の働きのお手伝いをさせていただき、108歳で帰天しました。恵まれた人生だと思っています。葬儀もこの教会で行わせていただきました。この奉仕を通して、お互いに、岡田さんとも知り合いましたし、私たちは、阪神タイガースのファンだということも、お話をしながら、分

かりました。これしながら、教会の人ともつながりを持てました。全然苦にならないんですよ。
岡田さんは、1時間半かけて教会へ、木村さんは2時間かけて、毎日曜日礼拝に見えられます。そして、礼拝後、翌週の聖書日課の箇所へ、しおりを挟む仕事をなし終えて、また、同じ時間をかけて、家路につきま

牧師の声・信徒の声

このみ言葉と始めて真剣に出会ったのは、念願のイスラエルの旅を計画したときでした。フィンランドでのミッションの仕事を終えて、数ヶ月イスラエルで過ごしてヘブライ語を勉強したり、ボランティア活動をしたりする計画でした。数年振りに日本に戻る前に、聖書の国で新しい体験をし、聖書の理解を深めると、夢が膨らんでいきました。

その矢先に湾岸戦争が始まり、毎日のようにテレビやラジオで恐ろしいニュースが流れてきました。自分の夢はどうでもいと反省し、大勢のクリスチャンと心を合わせて、紛争地に暮らす愛する人たちの安全を祈るばかりでした。

主がその祈りを聞いてくださり、湾岸戦争は停戦されました。私も7ヶ月ばかりイスラエルで住むことができ、自分の夢以上のものが与えられました。ユダヤ人の生活を見ることよって、主イエスの教えを新たに理解し、福音のをもたらす自由と喜びを体験することができました。

その後、新しい気持ちで日本に來て、15年間北海道で働いてきました。自分の計画がだめになったことがたくさんありましたが、そんな時、わたしの名を知ら

ないと言わなかった。これからも、開かれた門に入り、勇気をもって前進したいと思えます。そして、主がやがて、み国の門を開いて私を迎えてくださると、確信しています。この信仰を皆様と分かち合いたいと思



聖なる方、真実な方、
ダビデの鍵を持つ方、
この方が開けると、
だれも閉じることなく、
閉じると、だれも開けることがない

ヨハネ黙示録3章7節
北海道特別教区 函館教会 牧師
V. ソベリ

<牧師の声> 私の愛唱聖句

第8回 私達は神の憐れみを食べ、飲みます。(聖餐への招きと聖餐)

「だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、

主が來られるときまで、主の死を告げ知らせるのです」(コリントの信徒への手紙一 11章26節)

平岡(以下「平」) : 父と子と聖霊の御名によって洗礼を受けた人は、神の恵みに与る聖餐に招かれます。

Lathrop(以下「L」) : 日曜礼拝に於いて私達はただ神の憐れみの言葉を聞くだけではありません。私達はまた神の憐れみを食べ飲むのです。このイエス・キリストの体と血による聖餐はまるで見える、そして食べられる御言葉のようです。私達は食事のパンを求め両手を差し出し、触れ、出会い、そしてイエス・キリストの真の体、即ち愛をもってこの世に來られる神の全きご臨在を私達の体の中へ受け取ります。私達は杯から飲み、そしてイエスの血、新しい契約の血、苦しむ世界の真ん中でイエスが注ぎ尽くした命によって、私達の命は確かにしるしづけられます。聖霊の力によってキリストはご自身を与え、神の憐れみの中へ私達を引き寄せます。

平 : 一つのパンを分け同じ杯から飲む時、キリストの体に於ける一致を私達はそこに見出します。そしてこのことは他者を、特にその日聖餐に与れなかった兄

弟姉妹を、また神の恵みの食物を共有すべき世界の人々を私達に思い出させることでしょう。

L : 教会はこの食事を地球上のあらゆる場所で祝います。パンが手に入らない時、地元の食物を用いることが出来ます。ぶどう酒を入手するのが困難な時は祝いの地酒を。何故なら、イエス・キリストによる神の愛と憐れみは、私達が所有する大地の賜物を用いる全ての場所、あらゆる所に注がれているからです。

平 : 日本人も祝祭の食物を用いることができます。例えば赤飯や日本酒を。そしてこれは受肉したキリストがあらゆる場所で私達と共に生きている確かな証言となるでしょう。

L : その時、私達は私達が食したキリストの体になってゆきます。即ち、私達を取り巻く人々の求めと苦しみの只中でキリストの体として仕えるために私達は遣わされます。だから聖餐は憐れみによる神の宣教を担います。キリストに於いて、御言葉を用い、次に食べ物と飲み物を、そしてそれから私達を用いて、



東洋と西洋の対話
ルーテル教会の礼拝



ゴードン W. レイスロップ
フィラデルフィア ルーテル神学校
名誉教授、神学博士

平岡仁子
日本福音ルーテル保谷教会 牧師

信仰の学び、養いを生涯続ける

第8回

さあ、壁に張って

申命記第6章は信仰の基本、信仰の問答の原点とも言える聖書箇所です。「聞け、イスラエルよ」と、信仰の基本を心に留めるべき相手への語り掛けがあります。信仰とは神と人間との全人的な関係ですから、語りかける神から、「自己紹介」に当たる宣言を伴って、その相手への呼び掛けが始まるのです。そして「あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」と全人的な信仰の姿勢の基本的な求めが告げられています。

さらに、このことは自ら「心に留め」、「子供たちに繰り返し教え」、日本語で言えば「寝ても覚めても」とか、「行住坐臥」とか言うように、座つていても歩いていても、寝ていても起きていても、これを語り聞かせよということです。そのうえ、これを手にするしとして結び、額に付け、家

の戸口の柱にも門にも書き記しなさい、と続きます。

興味深いことに、ルターの『小教理問答』の初版は、7枚のポスター版で出版された。これが小冊子の形になった。残念ながら、このポスター版のものは、そのように記録されているものの、現物は一つも残りません。家々の壁に張られて、その使命を果たしたのでしょうか。人々はこれを果たしたのでしょうか。日夜これを読み、心に留めたに違いありません。

申命記第6章はさらに続いて、あなたの子らが尋ねるときには、こう答えなさい、という形で、イスラエルの信仰の問答が展開されています。それはイスラエルの信仰の原点とも言えるべき、出エジプトのできごとから出発して、現在を生きている信仰の生き方を、親が自ら生きつつ、子に答え、教えて、共にいのちの日々を神の前で生きていこうとする問答です。



ルター学院大学・神学校名誉教授 徳善 義和

よりもまずポスター版で出版した背後には、この申命記の状況があつたでしょう。日夜読み、心に留める信仰の基本から、この問い、親の答えという親子の信仰の問答が繰り返されて行くことを期待したのである。

試みに、PM21の「LAOS講座」の一つ、さらにいくつかを、要約しながら、ポスター版に展開し、出版して、申命記の伝統、ルター以来の信仰とその学びの伝統を、今の私たちの教会に呼び起こしてみたらどうでしょうか。

神学生寮の思い出

日本ルーテル神学校長 江藤 直純

私は、1971年の春ルーテル神学大学／神学校の3年次に編入、ルター寮に入った。当時は、学生は神学生だけで、6学年で総勢50人ほど。大半の学生が寮にいた。

もちろん学校としては毎日午前中に礼拝があつた。親しい友と朝聖書を読み祈りをした。続いた時期もあつたし、挫折した期間もあつた。

習慣とか強制という枠がないと続かないのは、真に内発的な、強い自主性がないから。誰かに強いられてでもなく、心からの信仰とか喜びに動かされて生きることに大切さと難しさに気づいた。と同時に、たとえ喜びが強く感じられないときでも神に真向かうことも必要だ。弱さをもって

きる場が寮にほしい。

あのときあつて嬉しかったもの、足りなかったものを思い起こしながら、いま新しい神学生寮の構想を膨らませている。



■募金活動にご協力下さい■

従来の寮棟を『ルターホール』と名称を変え大改修します。この事業にご理解いただき、ぜひとも募金にご賛同、ご協力をお願いいたします。

募集期間 2007年4月～2009年3月
送金先 学校法人 ルーテル学院
取扱機関 郵便振替口座 00140-2171183
(所定の郵便振替用紙をご利用下さい)
銀行口座 三菱東京UFJ銀行三鷹支店
普通口座 4126089

名 義 学校法人 ルーテル学院
【お問い合わせ】
ルーテル学院大学・神学校後援会(0422-31-4611)
教会事務局(03-3260-8631)



～老いの育ち～

「一日生きれば一日の育ちありたしと朝毎祈る望み持ちつつ」(歌集「旅路」より)

若い日のあなたは、意欲満々の学びの履歴を積み、恋に生き、またキャリア・ウーマンの初代を築いて来た方でしたね。

骨折で入院なされた時、心ならずもおむつケアを受け、「私は自分を捨てました」と宣言。退院後、あなたは、しばらくの間、霧の中でしたが、「思い出療法」などで、見事回復し、80歳の受洗。私共を喜ばせてくださいましたね。

あなたは周りの人々の愛に囲まれて、病いと闘いを終え、御国に召されました。嫌いなことばは老醜。人の世話にならずに召されたいと思つていても、援けが要るようになる老いの季節。失われ行くものを埋めて下さるのは神様の愛。何も出来ないのではなく、1つだけあるのです。神さまの創られたものすべてを讃える、その為になんかされています。私は祈ることができます。声をかけて下さった方に。体のお世話をして下さいました方に。窓の花に。小鳥の声に。そして、『神さまありがとう』と。

大垣教会でも数年前から毎月1回、LAOS講座の学び会を続けています。短い時間ですが、いろいろなことを活発に話し合います。先日は「礼拝」のことについて勉強しました。

礼拝には変えてはいけない事柄もありますが、また同時に自分達で変えることのできる自由な要素があることは楽しいことです。聖餐式の回数も、必ずしも月1回ではなく自分達の教会の必要に応じて考えて良いのだとあらためて教えられました。私はアメリカで若い頃を過ごしましたが、土曜日には1人で教会を訪ねて牧師に「私は聖餐に預かって良いですか?」と質問したものです。聖餐を受けることが非常に大切なことだと思つていたので。その気持ちは今も変わりません。

大垣教会は信徒の働きがとても活発な教会です。礼拝でも信徒説教や信徒の証しが毎月行われています。婦人会の学びも会員が担当し、クリスマス会には大勢の方々をお招きして自分達で聖書のお話や証しをしています。

上手、下手は関係なく、自分達でできることを喜んですることが大切であり、それが信徒の成長になると思つています。



LAOSの学びは楽しい!
大垣教会 ヴェルニダ ボーマン

※執筆者によるLAOS講座は、jelc TVで御覧いただけます。
URL <http://jelc.tv/>

一日神学校

9月24日にルーテル学院大学で一日神学校が行われました。今年は新しくなつた通用門が皆様をお出迎



え。開会聖餐礼拝では、九州教区からの7名の方々を含む330名余が共に御言葉に耳を傾け、賛美し、聖餐に与りました。礼拝後は江藤神学校長による「シユバイツァーとマザーテレサ」をはじめ、神学・福祉・臨床3分野9

つの講義が行われました。午後は教会ミニシヨップで憩いの広場が賑わい、トリニティホールラウンジとチャ

ペルでは学生音楽サークルのコンサートも行われました。派遣礼拝では、大人のプログラムと並行して行われた「こどもしんがっこう」での成果をこどもたちが発表。和やかな雰囲気でも一日を終えました。参加者は582名でした。

第18回全国ディアコニア・セミナー In 毒ガス島

去る10月7〜9日、広島県の大久野島において、全国から35名が参加しておこなわれた。戦時中、地図からも消されたこの島で、16年間に7000トンの毒ガスが生産され、約半分が中国731部隊で使用され、残りは戦争



終結と共に廃棄された。今回のセミナーでは、その生産に学徒動員として駆り出された方や、毒ガス島資料館の元館長をお招きしてお話をうかがった。中国でも多大の死者を出したが、その生産に携わった1600人ものが毒ガス後遺症で亡くなり、今も大勢苦しんでいるという事実であった。遺棄されたガスは全国に及び、その詳細がわからないという。参加者一同、日本でたまたつとも言えるこの不気味な加害の遺跡を前にして、重苦しい気持ちにさせられていった。

三浦謙

PM/OM 会議

宣教方策PM21も前半期がすぎました。1年をかけて各部門で前半のまとめをしてきました。

これまでの半期について、各部門で計画されたものは、ほぼ実現できたという総括ができました。TNGの働き、L A O S 講座、信徒宣言21、教職レビュー、研修会、組織再編など、これまでの報告とおります。しかし、この方策が教区を通

して各教会まで受け止められているかが課題です。

この課題を受け、後半をどのような視点で計画するか。そこから「OUR」(私たちの宣教)を中心にしたと考えました。宣教する組織・道具はほぼ整いましたので、これを教区・各教会の「私たちの宣教」として受け止めていただくのが目標です。PMからOMということではなく、PM21を実現するためのOM計画と捉えていただければ幸いです。

TNG全体会議

10月15日〜16日にかけて、京都にてTNG全体会議が開かれました。TNGは「幼児・子ども・ティーンズ・ユース・翻訳プロジェクト」の5つの部門に分かれ、それぞれ活動を展開しています。メンバーは日ごろ、全



国に散らばっているためになかなか顔を合わせる機会がありません。今回、それぞれ担当する部門だけではなく、全体についてみんなで考え、祈りを合わせていきたいと、初めての全体会議が開かれたのです。会議はTNGの働きについて省み、互いの働きを労い、これからの働きへの思いを新たにできる機会となりました。

また、全国の皆さんの要望に耳を傾けて行きたいと願っています。そして、何よりも幼児から青年までの一人ひとりに仕え、寄り添って行きたいと願っています。

宣教師紹介

9月、アメリカ福音ルーテル教会(ELC A)より、長期宣教師が派遣され、来日しました。



エリック&クリスティー・ハンソン宣教師夫妻

を募集しているのを知り、「これは私のための仕事だ」と確信しました。日本では東京教会の英語礼拝を担当するのと共にTNGの働きを妻クリスティーと共に担います。教会の皆さん、どうぞよろしくお願います。

教会手帳 2008 11月発売

今年も恒例の教会手帳が発売になります。

- 2008年版の特徴
 - ①カラーはモダンなグレーを採用
 - ②カバーはペンを差し込めるようになりました。
- お申し込みは… 東京聖文舎まで (TEL: 03-3267-3221)

■ 価格 1100円



ルターホール改修 神学生寮設置のための
チャリティーコンサート
ピアノ演奏：シーグフリート・テッパ

10月16日、ルーテル市ヶ谷センターを会場に、ピアノリストのシーグフリート・テッパ氏をお招きして「チャリティーコンサート」が開催されました。曲目は、なじみの多いハイドゥン、モーツァルト、リスト、ショパンなど全10曲を熱演したテッパ氏の軽快な解説も観客を大いに沸かせました。



アンコールには日本になじみの深い曲と紹介しテッパ氏が即興でアレンジした「さくらさくら」も演奏されました。観客を最後まで魅了

幼保連合会ニュース

- 一. 去る7月30日〜8月1日、東京教会で「ルーテル幼保連合会保育者研修会」が行われ90名近い人が集まりました。日本発達障害学会会長の原仁先生(武蔵野教会員)、ルーテル学院大学学長市川一宏先生がそれぞれ専門分野の講演がありました。また、田村幼児体育研究所の田村忠夫先生(藤が丘教会員)が歌と動作を交えた実技を指導して下さり、汗を出しながら楽しくも有意義な学びが出来、保育に役立つエネルギーが与えられました。



二. 総会予告

2年に1度の総会が来年5月26日(月)、市ヶ谷センター2階会議室で行われます。各園1人は参加下さい。(賀茂川教会/高塚)

第4回インド・ワークキャンプ (JELA-JELC 共同プログラム)

- 期間: 2008年2月26日〜3月7日
- 企画: 日本福音ルーテル社団(JELA)・日本福音ルーテル教会(JELC 宣教室)
- 募集人数: 10名前後(書類選考あり)
- 参加費用: 150,000円(予定) ■ 対象年齢: 18歳以上
- 締め切り: 2007年12月2日
- 問合せ・申し込み: 教会事務局宣教室(担当: 乙守) mail: mission04@jelc.or.jp/FAX: 03-3260-1948

■■■■ 神学生寮・大学生寮 管理・調理スタッフ募集 ■■■■

- 身分 嘱託職員(現業職)〈本学嘱託規定による〉 ■ 募集人員 1名
- 採用日 2008年4月1日
- 勤務 東京都三鷹市大沢/8時30分から断続勤務 実働7時間30分 週休二日制(土・日)、祝祭日、夏期、年末年始休暇有
- 待遇 社会保険完備(私学共済・労災保険・雇用保険加入) 住宅2DK住込(家賃不要、光熱水費は自己負担)
- 応募 11月30日まで(消印有効)履歴書(写真貼付)書類選考後、面接日通知(守秘書類不返)面接予定12月初旬、クリスチャンを望む
- その他 調理士免許があればなお望ましい。
- 連絡先 学校法人 ルーテル学院 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20 TEL 0422-31-4611(担当: 兼子・高瀬)